

## 大学教育再生加速プログラム(AP) 中間評価結果

整理番号	27	大学等名	東京理科大学
テーマ	テーマ I・II 複合型		

### 【総括評価】

A：計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。

### 【コメント】

<優れている点>

- ・学生自身の学修の PDCA サイクルの確立によって、主体的な学修者の育成を目指し、そのための学修環境・システムの整備については、おしなべて着実に実施されているものと評価できる。
- ・事業の継続性については、ワーキンググループを小委員会に発展的に改組させるなど、継続的实施のための体制を準備させつつある。また、費用節減等の対応によって、資金的問題をクリアするための工夫がなされていることは評価できる。
- ・入試改革や国際化等の取組と関連させて本事業を位置付けようとしていることは評価できる。

<改善を要する点>

- ・目標に対する達成度については、ALのうち必修科目数の割合、ALを受講する学生の割合、学生1人当たりのAL科目受講数が目標値まで開きがあるので、より一層の事業推進が必要である。
- ・外部評価委員会の速やかな設置と開催が必要である。
- ・成果普及のためのアクティビティの一層の充実にむけて、設置予定の外部評価委員会等の意見を踏まえながら適切に対応することが必要である。
- ・選定時に付された留意事項への対応のうち、ステークホルダーを対象としたアンケート等の実施に係る指摘に対して、学生からの聞き取りを検討しているとのことであるが、速やかに実施することが必要である。